

平成28年2月5日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成28年1月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成28年1月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 27 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位:口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	572											
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	92,445											
顧客口座数 (単位:口座)	272,521											
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	60,316											

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 1月次の概況 >

1月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝120円台前半で取引が始まり、中国経済への懸念や地政学的リスクの高まりを背景とする株式相場下落からリスク回避の円買い等による円高が進展し、11日には一時116円台後半をつけました。その後、中国貿易統計が市場予想を上回る等リスク回避の動きが弱まると、116円台半ばから118円台前半にかけてのレンジでの相場推移となりましたが、20日に日経平均株価が大幅に下落すると一時約1年振りの安値となる115円台後半をつけました。ところが、翌21日にECB（欧州中央銀行）が追加緩和を示唆すると、117円台後半まで値を戻し、その後も日銀による追加緩和観測が高まるなか119円台まで緩やかな円安ドル買いで推移した後、29日の日銀金融政策決定会合において当座預金にマイナス金利を適用する追加緩和を決定すると121円後半まで急騰し、121円台前半で月末を迎えました。米ドル／円の月を通じての変動率は、前月の水準を更に上回り、平成27年8月以来の高い水準となりました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、ユーロの値動きこそ冴えなかったものの、豪ドル／円やポンド／円等は大きく動き、平成27年1月以来の高い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、営業日数が20日と前月比3日減少したものの、米ドル／円や豪ドル／円等値動きの大きかった通貨が大幅に増加し、前月比44%増加の924億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が増加したことや、相場変動に伴うカバーレートの悪化等により全体の取引高当たり収益性が前月と比べ低下したことから、572百万円と前月比増加率は17%にとどまりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は年初からのマイナンバー徴求義務化の影響もあり新規口座開設にブレーキがかかり、前月比977口座増加の272,521口座となった一方、外国為替取引預り証拠金は、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金が大きく増加したことにより、前月末比10,835百万円増加の60,316百万円となりました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月比10,227百万円増加の11,072百万円であります。

以 上